

■ 銘柄: 金 ■

氏名: 宮永 正人

国内、海外共に下降トレンドラインブレイク、買いスタンスに変化か

東京金先限60分足



■ コメント ■

○東京金先限終値 2,902円 (前日比+53円)
国内金市場も海外に続いてレジスタンスブレイクしたようだ。
新サポートラインの出現で、戻りが鮮明になり始めたようだ。
ポイントは、前日伝えたようにフィボナッチ計算で50%ラインと平行線が重なる2,920円前後が目先のターゲットになる。
今の流れが継続なら、突破の可能性は高いと予想。
まず、RSIはレジスタンスのトレンドラインブレイクでサポートに転換して上向き。
MACDは、60分足でプラス圏内に突入し右肩上がり継続中。
テクニカル指標も強気のシグナルで上昇トレンドに転換した形になった。
国内・海外共に反転が鮮明になり始めれば、買いスタンスが有効だろう。
注目のFOMCは、ゼロ金利政策の据え置きを決めて、国債購入などの金額・期間ともに現状維持になった。
結果的には、材料視されずにスイス国立銀行による自国通貨売り介入観測が広がったことが金の支援材料につながったようだ。
国内金市場が、本日の終値ベースで2,900円台を越えて終了した意味は大きいと感じている。
(25日 16:30 宮永)

■ テクニカル ■

移動平均(5MA)	2,901
移動平均(25MA)	2,864
RSI(14日)	66.13%
MACD線(12-26)	13.37
シグナル線(9)	8.22

商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。
詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている『取引の重要事項』をご確認ください。